

## 長野県オリエンテーリング協会における学校教育へのオリエンテーリング導入例

### 林間学校で2000名が体験

長野県で実施される学校対象のオリエンテーリングは、ほとんどが学校の林間学校のプログラムの一環としておこなわれる。2013年度の実績で2,000人以上の生徒がオリエンテーリングを体験している。

実施される時期は4月から10月であるが林間学校の目的としては2通りある。

4月 入学式直後のオリエンテーション合宿

5-10月 林間学校

オリエンテーリングをプログラムとして導入したのは中学校、高校が多い。小学校での導入例は少ない。

### リゾート宿泊施設が主体

実施する場所は高原リゾート地にある民間の大規模宿泊地がその大半を占める。旅行会社を通じて林間学校を手配する学校が多いためである。このときに実際にオリエンテーリングを実施する団体は地域によって異なる。

- ・宿泊施設での職員が対応する場合。(例：菅平クラブ)
- ・他の団体に外注する場合。(例：長野県協会に外注、茅野市オリエンテーリング協会に外注)

茅野市オリエンテーリング協会、菅平オリエンテーリングクラブはこうした林間学校の受入を目的とした団体である。オリエンテーリング競技者の団体ではない。類例として各地のゴルフクラブが挙げられる。

学校や旅行企画社への売込み営業は、リゾート宿泊施設や各クラブで行なっている。プロモーションとして、観光パンフへの掲載、webサイトへの掲載、旅行関係のトレードショーへの出展、動画サイトを利用したオリエンテーリングのプロモーションを行っている。

### 競技形態は？

#### ・グループ競技

正確に言うと、これはオリエンテーリング競技ではない。オリエンテーリングの形態を借りた学校教育のプログラムである。プランニング、ディベート、協調性、チームビルディングを目的としている。学校の班分けに沿った人数でチーム分けする。

#### ・スコアオリエンテーリング

スコア0は終了時間が決まっていることが学校に受けている。一般的に、スコアオリエンテーリングは殆ど知られていない。ほとんどの先生がポイントオリエンテーリングしか知らない。オリエンテーリングは時間のかかるものだと思っている。

#### ・標準競技時間 2時間

半日行事として、お弁当が要らない範囲で手軽に終えるには2時間程度。この時間を利用して、学校の先生方にフィニッシュ運営を説明する。

### コースプランは？

どのような場合でも以下のコース特性を維持している。

#### スコアオリエンテーリング

コントロール数 25個

満点 1000となる得点構成

これによりコントロールカードの様式を共通化している。

コースはパーマナントではなく、セミカスタムで対応している。コースを考えるときの要因は以下の通り。

- ・参加者  
(年齢・男女・学校の性格・人数)  
男子校と女子校ではパフォーマンスがかなり違う。
- ・会場位置  
(菅平高原で4か所、白樺湖では3か所のバリエーション)
- ・季節(雪の影響、給水箇所など)
- ・競技時間(標準は2時間)

### コース設置は？

コントロール位置は複数候補を持っており、これを組み合わせ利用している。フラッグは都度設置・撤収を行っている。常設ではない。フラッグ設置には鉄杭利用したり、吊り下げ方式であったりと地域によってさまざま。

### 当日の運営は？

少ない人数で200名を超す生徒を指導するために、運営作業は学校にも分担していただいている。

指導する側が行う運営

スタート、フィニッシュの合図、各種誘導

先生に行ってもらう運営

救護、パトロール、帰還確認、ペナチェック、検算、結果発表(表彰)  
必ず救護の先生が帯同している。

生徒に行ってもらう運営

得点計算(自己採点)

### 保険について

林間学校を実施するにあたり、各学校が必ず旅行傷害保険に入っている。追加の保険に入ることはない。

### 地図のコピー流出防止

長野県での林間学校では地図コピーが出回らないように以下の手段を取っている。

- ・白地図は印刷しない。
- ・コースの真ん中にコピー防止用の文字を刷り込んである。
- ・実施日、学校名(複数箇所)(必ず入れる)

地図を入手した人は、深く考えずにコピーしようとしたときに、これを抑止することを狙っている。

地図コピー防止を施さなかった頃、「コピーのコピーでボロボロの白黒地図」で生徒にオリエンテーリングをやらせている学校があった。これはオリエンテーリングの誤った認識を、先生と生徒に植え付けてしまう。

地図の管理者がコントロールできない利用者が増えると、地元トラブルがあったときに苦情を受けるのは地図管理者である。

高原リゾートでは、環境保護域や別荘地があり、毎回注意してトレイン利用している。これを徹底するためにも地図コピーの防止は重要なのだ。

(木村佳司)